

## Pb-SPK 鉛 (SPK)

発色：黄→橙→赤

セル：専用カップ

測定原理：高選択性分子認識ゲル (MetaSEP AnaLig<sup>®</sup>) を用いた鉛の分離、濃縮と PAR 法による

使用波長：519 nm

測定範囲：0.03 ~ 0.50 mg/L (ppm)

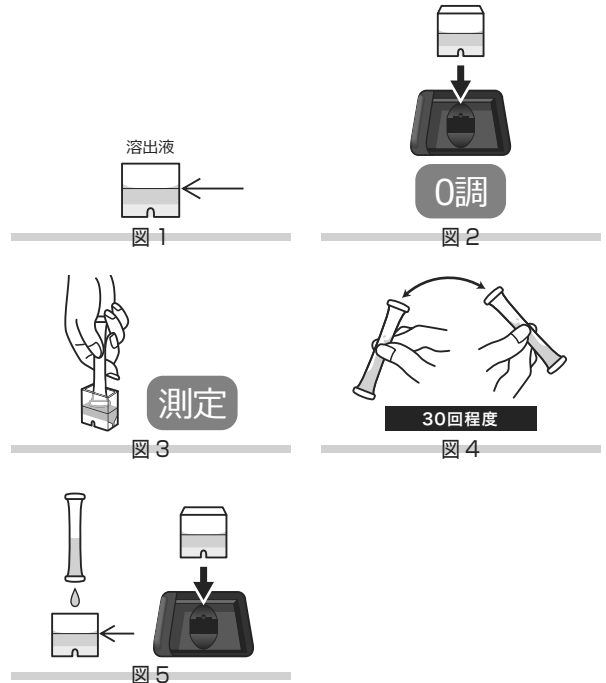
試薬：SPK-Pb K-1 (液体)、K-2 (液体)、K-3 (液体)、K-4 (液体)、チューブ

測定時間：チューブに吸い込み後 3 分

使用方法：「パックテスト鉛セット」(型式 SPK-Pb) に付属の使用方法をお読みください。

### 測定方法

1. 【Pb-SPK】を押します。
2. 【決定】を押し、測定画面に切替えます。
3. パックテスト鉛セットの使用方法「5. 溶出液の回収」に従い、溶出液を専用カップに採ります。(図1)
4. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押します。(図2)
5. チューブに、専用カップの溶出液を全量吸い込み、同時に【測定】を押します。(図3)
6. 5. のチューブを30回程度振り混ぜます。チューブ内に橙色の塊が残っている場合には、さらによく振り混ぜます。(図4)
7. すぐに専用カップにチューブ内の測定液を静かに戻し、セルボックスに再びセットし、静置します。(図5)
8. 経過3分後に濃度が自動表示されます。



### 注意

1. この方法では、「パックテスト鉛セット」の溶出液の測定を行いません。操作に関する注意は「パックテスト鉛セット」に付属の使用方法をご参照ください。
2. 検水中の鉛イオンの濃度が高いと考えられる場合、あるいは測定値が測定範囲以上であった場合は、測定範囲内に入るように検水を希釈し、「パックテスト鉛セット」で再度溶出液の回収まで行なってください。
3. 検水の温度は15 ~ 30℃で測定してください。
4. チューブ内の橙色の塊はできるだけ溶かしてください。無色の試薬は溶け残っても測定には影響ありません。

### 共存物質の影響

「パックテスト鉛セット」に付属の使用方法をご参照ください。

### 試薬に関するお知らせ

「パックテスト鉛セット」に付属の使用方法をご参照ください。  
測定液は約 pH9 です。